

つながりの中でくらす
生まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 49

2016年7月発行

2015年度事業報告

2015年度は、障害をもつ子どもたちの支援を中心に事業を行った。ホームページを作成し、法人の事業紹介や「子どもからはじめる個人将来計画」「自立生活プログラム子ども版」の手法の紹介などを行った。児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）においては、事業の充実をはかった。ケース会議で活動を振り返りながら個別支援計画の作成及び更新を行ったことで、スタッフ全員で支援方法を共有化することができ、スキルアップにもつながった。「子どもからはじめる個人将来計画」による計画作成のためのワークショップを開催することにより、家庭、学校や関係機関との連携を図ることができた。また、随時、個別懇談を行って家族支援に取り組み、家族との信頼関係を築いた。施設面においては、洗面所の改修、雨よけ屋根の設置を行い、子どもたちがより安全に快適に過ごすことができるようになった。また、防災減災講習会等により災害に対する準備を行うことができた。次年度より避難訓練を実施する。

障害児者の自立に向けた支援事業においては、大阪市旭区社会福祉協議会善意銀行「児童育成事業等助成」と大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を受け、障害児の自立に向けた支援活動を行った。定期的にイベントを実施し、体験の少なくなりがちな障害をもつ子どもたちに体験の機会を作った。兄弟姉妹の支援として、兄弟姉妹もイベントの参加対象とした。子どもたちは、みかんがり・サツマイモ掘り・釣り・イチゴがりなど、収穫することの大変さや喜びを感じ取ったり、喫茶や販売や図書館の仕事体験をしたり、服を選んで着ることを意識したりする中で、人と関わることの楽しさやルールを守ることの大切さを学び、仲間と楽しい時間を共有して、将来を思い描く機会となった。障害をもつ子どもと兄弟姉妹が、保護者から離れ、年齢の近い学生ボランティアと一緒に試行錯誤をしながら、体験の幅を広げることで、自立へのきっかけにつながる事業を実施できた。学生ボランティアは、子どもたちと一緒に行動して、様々な気づきや学びを通じて、障害児への理解を深めることができた。多くの学生ボランティアや地域住民の協力を得ることができ、障害児に対する地域の理解をすすめることができた。また、旭区地域自立支援協議会に参加し、地域の関係団体とのネットワークにより障害者の地域生活支援に取り組み、子ども部会においては、就学相談会の開催などの活動に取り組んだ。地域の障害者福祉に対する意識啓発ができたと考える。

子育て支援事業においては、「あさひの輪」「旭区子育て安心ネットワーク」に参加し、定例会で情報交換や意見交換を行い、旭区内の子育て支援イベント「子育てわいわい広場 in ASAHI」の開催に協力し、区内の子育て支援体制の充実に向けての活動を継続することができた。

生涯学習講座等の企画・運営支援事業においては、全国児童発達支援協議会職員研修のシンポジストとして、発達支援において子どもの思いを中心とした「個人将来計画」を使用する支援の大切さを伝えることができた。また、法人事務所において、大阪市男女いきいき財団クレオ大阪東の協力で、町会の共催により防災減災セミナーを開催した。地域住民の方々と交流する場になり、防災のまちづくりを考える機会になり、今後、地域の防災に関わるネットワークに参加するきっかけとなった。

2015年度も、地域住民とのつながりを大切にしながら、様々な活動を展開することができた。年賀寄附金配分助成により、雨漏りの修繕とトイレ改修を行い、放課後等デイサービスで集う子どもたちがより安全に過ごすことができるようになったと同時に、地域の方々がつながる場所としての活動もできるようになり、今後もより地域に密着した活動に取り組んでいくことができると考える。

2016年度事業計画

今年度は、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）と障害児者の自立に向けた支援事業を中心に事業を実施する。また、子育て支援事業と生涯学習講座等の企画・運営支援事業を継続し、まちづくりの推進に関する企画及び研究事業を実施する。地域住民や関係機関と連携しながら、地域に密着した事業を展開していく。

放課後等デイサービス事業においては、5月から開所日を増やし、活動内容もより充実した支援を行うことができるように、定期的な支援計画の見直しとケース会議を継続する。「子どもからはじめる個人将来計画」による計画作成や実践を継続し、それぞれの子どもに対して関係機関とのネットワークを構築していくように努める。「自立生活プログラム子ども版」を用いたプログラムを実施して、子どもたちが社会生活体験を広げていく場所となることを目指していく。また、地域の方々やボランティアの協力を得て、障害児に対する地域の理解がすすむよう活動をしていく。

障害児者の自立に向けた支援事業においては、地域住民や学生ボランティアの協力を得ながらイベントを開催する。昨年度、初めてバスツアーを行ったが、今年度はサマーキャンプ（宿泊研修）を実施する。また、旭区地域自立支援協議会に参加して、地域の障害者福祉の推進を行う。子ども部会においては、部会長として障害者相談支援事業所や学校などと連携して就学相談の活動に取り組むなど、障害児の地域支援を行っていく。

子育て支援事業においては、未就学の障害児と保護者の居場所づくりとして「ほうぶのつどい」の活動を継続する。「旭区子育て安心ネットワーク」、「あさひの輪」などの子育て支援関係の定例会に参加して情報交換を行い、子育て支援イベントや講座の開催などへ協力し、児童虐待防止の推進に努める。

まちづくりの推進に関する企画及び研究事業においては、地域活動協議会に参加し、地域の方々との関係をより深め、地域と連携した活動に取り組んでいく。

放課後等デイサービス「楽童ほうふ」報告

4月に新しい職員を迎え、管理者兼児童発達支援管理責任者1名、児童指導員3名の4名常勤体制で運営しています。土曜日には学生のアルバイトが加わります。4月までは火曜日～土曜日に開所していましたが、5月からは月曜日～土曜日にしました。新人研修と同時に職員全員の研修も行い、支援の質の向上もしていきたいと思えます。4月にエルム大阪の訪問研修を受け、具体的に子どもたちとの関わり方をアドバイスしていただきました。訪問指導も受けていきます。常勤職員は、ケース会議の度に、子どもの情報や対応方法を共有し、個別の対応と同時にグループ活動の方法についても話し合っています。

子どもたちの将来に向けて、今取り組んでいくことは何かを考えながら活動をしたいと思っています。人との関わりや体験の幅を広げること、生活する力をつけていくために家庭と連携しながら生活習慣を考えること、やりたいことや楽しみを見つけていくこと…、さまざまな取り組みをする中で、いろんな課題も見えてきます。

中学3年生が5名もいるので、春から「個人将来計画」ワークショップの開催が続いています。どの生徒も教員の参加があり、中学校との連携をはかることができます。先生方には本当に感謝しています。高校進学に向けて一緒に頑張っていきたいと思えます。

また、昨年度は「自立生活プログラムこども版」を障害児者の自立に向けた支援事業において実践してきましたが、放課後等デイサービスにやってくる子どもたちを対象にしてじっくりと取り組みたいと思い、今年度は放課後等デイサービスにおいて、「仕事体験」「フアッション」をテーマに実践していきます。

日々の活動でも様々な取り組みをしています。子どもたちが中心になっておやつタイムや学習に取り組み、自分の思いを表出したりすることの大切さを伝えています。公園に行ったりスポーツをしたりして身体を動かし、時には、鶴見緑地公園や城北の「わんど」まで遠足をしたりして、体力作りをしています。クッキングをなるべく多く行ったり、菜園で野菜を育てたりして、食べることに関心を持ってほしいと思っています。



①フードコートほうふ開店



日時：2016年4月23日（土）12：00～15：00

場所：楽童ほうふ

昨年度、今市商店街の「あさひあったかきち」で喫茶体験と七宝焼の販売のイベントを開催しましたが、今回は、楽童ほうふで取り組むことにして、フードコートを開きました。子どもたちが、大学生ボランティアと一緒に、たこ焼き、やきそば、ハンバーガー、クッ

キーを作り、お客さんをオモテナシしました。9名の大学生がボランティアに来てくれました。保護者の方々、ご近所の方々、子どもたちの友だちや学校の先生など、30人近い方が来てくださいました。予想外の来客の多さに、たこ焼き、やきそば、ハンバーガーはすぐに売り切れとなりました。クッキーの評判が良かったので、秋にはクッキーを焼いて、喫茶を開店して接客体験をしたいと思っています。



<子どもの感想から>

- ・ 今日はお店を出しました。僕はタコヤキ係でした。油を入れて、タコを入れたら、めっちゃはねてきて、めっちゃあつかってん。
- ・ 今日はほうぶでおみせやさんをしました。やきそばを作りました。おいしかったです。



<ボランティアの感想から>

- ・ 野菜を手際よく切れる子がいて驚きました。自分から動こうとする子も多いと感じました。お客さんにおいしいと言われてうれしそうなのがすごく印象的でした。
- ・ 初めて参加しました。子どもたちの元気さに驚かされました。料理を楽しそうに作っているところがほほえましかったです。また参加したいです。



② 自立生活プログラムこども版

～ どんな服が好き？ ～

「おしゃれ」をテーマにした「自立生活プログラムこども版」の実践をしました。自分の好きな服を選ぶことの大切さ、TPOにあった服を選ぶことの大切さ、そして、身体や下着を清潔にする必要性等、子どもたちに学んでほしい「おしゃれ」は盛りだくさんです。どのようにしたら、子どもたちが楽しく積極的に参加できるかを考えてみました。

パート1 どんな服そうがあうかな？

日時：2016年6月11日（土）14：00～15：30

場所：楽童ほうぶ 参加者：10人

1. 今日の服はどんなふうにした？

子どもたちが順番に、今日の服装をどのように決めたかを発表しました。「緑色が好きだから」、「動きやすいから」、「お母さんが決めた」、いろんな意見が出ました。

2. この服はどんな時に着る？

スライドにいろんな服装を映し出して、どんな時に着る服かを考えました。ジャージ姿は「スポーツ！」「ダンス！」、『そうそう』。スーツ姿は「会社」、制服は「学校」、『うんうん』、Tシャツとパンツは「普段着」、ちょっとおしゃれの男子モデルを見て、「デートする時！」、『お～、いいぞ』とスタッフは内心、拍手しました。

3. 梅田に行く準備をするよ。

スタッフが、「梅田に行く時にどんな服を着たらいいかな？」と、シャツやパンツ、ソックス、バッグ、履物を見せて、子どもたちに選んでもらい、実際に着てみました。簡単そうですが、意外とビックリする選択をする子どももいて、体験を広げたり、子どもの世界を広げたりすることの大切さを実感しました。

4. 好きなファッションはこれ！

最後に、子どもたちが、雑誌などを見て、自分の好きな服装、着たい服装等を選んで切り抜いて、白い紙に貼りました。名前を書いて、完成です。



パート2 ショッピング！

日時：2016年6月25日（土）10：00～13：00

場所：楽童ほうぶ⇄ベルファ都島 参加者：子ども11人 ボランティア：12人

学生ボランティアさんたちと、バスに乗ってベルファ都島に行き、服を選んでみました。テーマは、「梅田に行く時に着ていく服」です。学生さんと悩みながら、鏡に映して見たり、試着室で合わせてみたりして、選びました。デザイン、サイズ、値段、たくさん悩みながら買い物をしました。買わない子どもも、いろいろな服を合わせてみました。



ほうぶに帰って、お昼ご飯を食べた後、みんなで買ってきた服の「おひろめ会」をしました。生まれて初めてスカートを買った子ども、生まれて初めて保護者から離れて服を選んだ子ども、生まれて初めて自分でサングラスを買った子ども。初体験がたくさんでした。みんな、うれしそうに発表しました。



短時間でしたが、公共交通機関にも乗り、学生さんたちとの関わりもして、グループ活動でのルールも学ぶことができました。

<子どもの感想から>

- ・バスに乗ってベルファに行きました。赤色のふくをかいました。かわいいです。スカートをかいました。白いスカートです。またいきたいです。

<ボランティアの感想から>

- ・最初は話しかけても一言二言返すだけで、あまりコミュニケーションが取れませんでした。乗り物が好きということで電車の話をしました。帰りのバスでは、駅名を言うゲームをして楽しみました。



パート3 ファッションショー♥

日時：2016年7月9日（土）14：30～15：30

場所：楽童ほうぶ 参加者：子ども11人 ボランティア：2人

見学者：15人 協力：トモ美容院

ショッピングで買った服を着て、ファッションショーをしました。美容師さんがちょっとおしゃれなタウンスタイルヘアをボランティアで作っていただきました。ファッションショーは自己表現の場です。自分の好きな曲を選んで、それにのって自己表現します。歌ったり踊ったり、中にはリフティングを披露したりしました。ほとんどの子ども

が堂々と表現しましたが、中には恥ずかしくて半泣きの子どももいました。みんなよくがんばりました。きっと、次、その次と体験を重ねていくことで、自分らしさを表現できるようになると思います。ご家族の方々やご近所の方々が見に来てくださり、保護者の方々は写真をパチリパチリ。ファッションショーの最後は、華やかにウエディングドレス姿の高校生が登場し、みんなで記念写真を撮って、感想を発表しました。

<子どもの感想から>

- ・今日はファッションショーをしました。はいけい手がみをうたいました。
- ・ふくをきがえてとてもきんちょうしました。でも、たのしいかったです。ファッションショーしてよかったです。さいごのもうすぐそつぎょうですね。かなしいけどはなれてもずっと一緒にいようね。ありがとう。
- ・今日はファッションショーで司会をやり、ちょっとだけきんちょうしました。ぶじ終わり、よかったですねー。



<見学の方々の感想から>

- ・いつもとは違うオシャレ姿に笑顔、少し緊張した様子、全部ステキでした。毎回、少しずつ成長する姿も嬉しかったり少し寂しかったり。次回もみんなの素敵な笑顔、成長、楽しみにしています。
- ・それぞれの個性があり、ステキでした。とても楽しませていただきました。

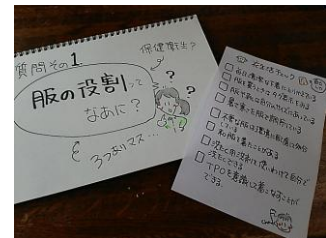


③ 保護者研修会 聞いてみよう！尋ねてみよう！～こどもの生活のこと～

日時：2016年6月25日（土）10：00～13：00

場所：楽童ほうぶ 参加者：4人

放課後等デイサービス利用の保護者を対象に、子どもの「衣」に関すること、成長や生活のことについての研修会を開催しました。当法人の会員の保健師と教師が担当をしました。研修を受けることに加えて、少人数でじっくりといろんな話ができたと感じました。生活の基本的なことからはじめ、子育ての中での悩みなども話して、少し元気になってもらえたら嬉しいです。



<参加者の感想から>

- ・衣服についてというテーマではありましたが、その枠を超えた話が聞けて勉強になりました。他のお母さんとも話が良かったです。
- ・服についての話。何が始まるのだろうと想像していたら、衣服の役割の話から、自分の日々の衣服についてどう認識して生活しているか、子どもはどう思っているか等、あまり気にとめていなかったことを意識することができました。ワイワイ話すことができました。



地域情報

★ 第8回 子育てわいわい広場 in ASAHI が開催されました♪

日時：7月7日（木）10時～12時 会場：旭区民センター 大ホール小ホール

区内の多くの施設や団体が参加して、今年もにぎやかなイベントになりました。当法人からも2人の職員が参加して、バルーンを作って子どもや家族とふれあいました。

★ 就学なんでも相談会 を 開催しています！

区内の10小学校の協力を得て、6月～9月に就学なんでも相談会を開催しています。主催は、旭区地域自立支援協議会こども部会です。こども部会と相談部会から相談員が出て、小学校で1室をお借りして、10時～12時の2時間、相談会を開催しています。

小学校入学は、障害をもつ子どもの保護者にとって、大きな問題です。学校に電話をしたり訪問したりするのに大きな勇気が必要だったりします。そこで、気軽に相談できる場、気軽に学校に入れる場を作ろうと、昨年度末から、就学相談会の取り組みを始めました。6月7日は5小学校で開催し、9組のご相談がありました。8月9日も開催します。この機会に、小学校入学や中学校進学の相談に来ていただければと思います。

無料です

チラシ
あります

● ほうぶの今後の予定 ●

「ゆかたを着て 夜店に行こう！」

日時：8月2日（火）午後3時～6時

会場：地域生活サポートネットほうぶ ～ 千林商店街

協力：旭区老人クラブ連合会 対象：障害児とその家族

定員：20名 参加費：300円 締切：7月23日

今年もやります。浴衣を着て、千林商店街のお祭りに出かけます。髪は自分たちでセット、着付けは老人クラブの方々にご協力いただきます。



「メンタルヘルス」セミナー

～ 保護者・支援者向けセミナー ～

日時：11月12日（土）10時30分～12時

会場：地域生活サポートネットほうぶ 定員：15名

平成28年度大阪市男女共同参画「地域出前セミナー」事業 参加費：無料

FAX 又はメールにて
お申し込みください



ほうぶの菜園では、キュウリ、ピーマン、ミニトマト、アップルゴーヤがなってきました。今、カラスから守るのに必死です。「ほうぶ」では「生活」の大切さに改めて気づかされます。療育だけでは、地域で暮らしていく、生活する力を育てるということを見落としそに思います。掃除をしたり、子どもたちと一緒に調理をしたり野菜や花の世話をしたり、ご近所の方々と談笑したり、そんな日々のささやかな積み重ねが、子どもたちの暮らしをサポートしていく基盤になっていると感じます。

